

「すくすく育っています！伊丹市の子どもたちの学力」

～令和7年度「全国学力・学習状況調査」の伊丹市の結果より～

(本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です)

全国の平均正答率を100とした場合の伊丹市の平均正答率

小学校	国語	算数	中学校	国語	数学
	103.3(69%)	103.4(60%)		103.1(56%)	107.7(52%)

*カッコ内の数値は伊丹市の平均正答率

小学校・中学校ともに2教科において全国平均を上回っています



R4小学6年生の学力は、R7中学3年生において上昇しています

*ア

*イ

伊丹市の小学校理科の平均正答率と中学校理科のIRTスコアの値

*理科については3年に1度の調査になります。

小学校	理科	中学校理科	IRTスコア
	56%(57.1%)		506(503)

(カッコ内の数値は全国の平均正答率・IRTスコアです)

[IRTについてはこちら](#)
(文部科学省資料)



無解答率の経年変化

全国の無解答率を100とした場合の伊丹市の無解答率の推移 (国語と算数・数学の合計) *数値が低いほど、無解答が少ない

小学校



中学校



小・中学校ともに最後まで書こうとする粘り強さが育っています

今後充実させたい取り組みを具体的な問題(抜粋)から検証

小学校「算数」 「分数を単位分数のいくつ分として捉えること」に課題が見られます

問題3の(3) 【出題の趣旨】

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることができるか

単純な計算は
OK!!!!!!
でも、……

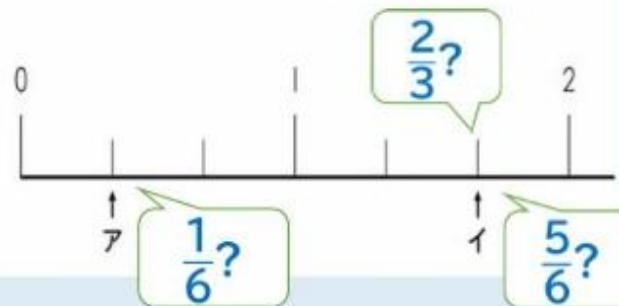
この問題の
正答率 **-1.2pt**

伊丹市	全国
33.8	35.0

正答

ア: $\frac{1}{3}$
イ: $\frac{5}{3}$ or $1\frac{2}{3}$

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



多かった
間違い

ア: $\frac{1}{3}$ ○

イ: $\frac{2}{3}$ ×

誤答率

5.5%

ア: $\frac{1}{6}$ ×

イ: $\frac{5}{6}$ ×

誤答率

5.4%

問題3の(4) 【概要】

異分母のたし算ができるか

(4) $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

+3.6pt

正答

$\frac{5}{6}$

伊丹市	全国
84.9	81.3

(%)

今後

形式的に分数の計算をできるようにするだけでなく、分数は「1を等分したうちのいくつ分を表す」という意味を正確に捉え、適切に表現できるような授業の充実を図ります。

中学校「国語」 「内容がより伝わるように助言すること」に課題が見られます

問題2の四 【出題の趣旨】

資料等を用いて、考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるか

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の内容をより分かりやすく伝えるために、(スライド5)を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの「工夫の仕方」のAからCまでの中から1つ選び、条件にしたがって、助言を書きなさい。

【村田さんのスピーチ】

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思います。

【工夫の仕方】

- A (スライド5)に、言葉を加える。
- B (スライド5)のイラスト修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBを組み合わせる。

(スライド5)

「つなごうマリープロジェクト」



この問題の
正答率

伊丹市	全国
26.3	23.2

(%)

多かった誤答

今後

条件①～③を満たしているが、条件④を満たしていない

伊丹市	全国
23.3	21.9

(%)

相手の考えが伝わりやすくなるように、目的や条件を基に資料の活用を工夫し、どのように表現すればより伝わるのか対話的に学ぶ授業の充実を図ります。

【出典】令和7年度 全国学力・学習状況調査※問題は内容がわかる程度に省略しています

調査問題・正答例・解説資料はこちらからご確認ください
(国立教育政策研究所HP)



学習状況調査(主なもの)

*ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、
生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
(文部科学省 第4期教育振興基本計画【概要】より)

さらに高めたい
ウェルビーイング*

小…小学校
中…中学校

～15歳

自分には良い
ところがある
小…86.2%
中…84.7%

普段の生活の
中で幸せな
気持ちになる
小…93.7%
中…90.6%

人の役に立つ
人間になりたい
小…95.0%
中…96.8%

**小・中学校の9年間
を通して今後も高め
ていきたい**

先生は、よい
ところを認め
てくれる
小…91.1%
中…90.0%

友達関係に
満足している
小…90.8%
中…89.7%

人が困ってい
るときは進ん
で助ける
小…91.5%
中…91.6%

6歳～

これからさらに育てていきたい

主体性

自分の考えがうまく伝
わるよう、資料や文章、
話の組み立てなどを
工夫して発表していた
小…60.6%
中…56.7%

他者とのつながり

自分と違う意見につい
て考えるのは楽しい
小…72.5%
中…75.4%

教科を
好きな気持ち

国語の勉強が好き
小…55.3%
中…53.0%
算数・数学の勉強が好き
小…56.8%
中…55.1%
理科の勉強が好き
小…75.2%
中…57.0%



日々を見直す機会に

(学習状況調査と平均正答率のクロス集計より)

クロス集計は相関関係(※)が見られるかを分析したものであり、因果関係を示したものではありません。
(※ 2つの項目の何らかの関係性のこと)

睡眠を中心とした**幼少期から**
の**望ましい生活習慣**の確立を!

家庭では

基本的な生活習慣と学力には、相関関係がみられます

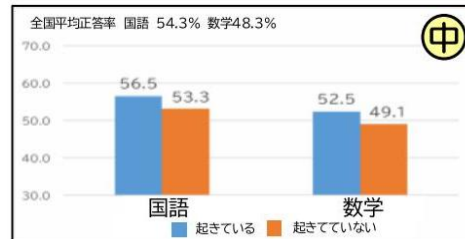
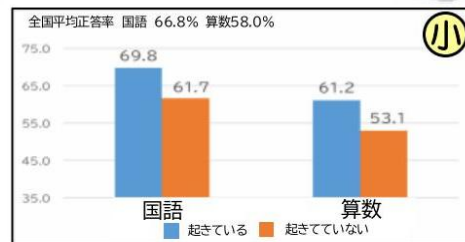
「朝食を毎日食べていますか」の質問への回答別平均正答率



「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問への回答別平均正答率



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問への回答別平均正答率



多様で柔軟な学び方を支援していく「**カラフルな教育**」の推進を!

学校では

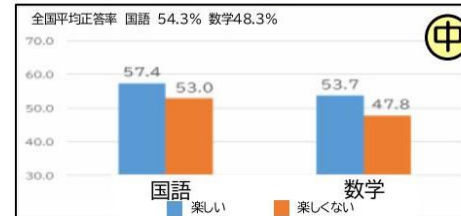
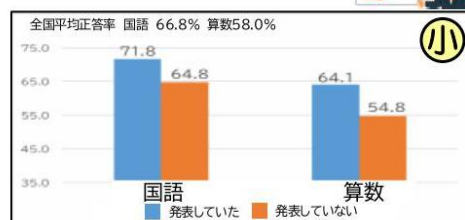
自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していた



自分と違う意見について考えるのは楽しい



算数・数学の勉強は好きですか



自他との対話や教科との関わりには、相関関係がみられます

本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面です。一方で、全国で実施されている貴重なデータでもあります。
今回の調査結果をもとに、自分たちの学校や市の状況を**把握**し、**検証**し、**改善**に努めていくことが大切です。
子どもたちの「最善の利益」のためにも「学力の向上」は重要です。子どもたちの学力向上につながるよう、学校・家庭・地域が協力して支えていきましょう!



これまでの「伊丹市の学力の現状と対策」はこちら

